



ニュース&トピックス

コロナウイルス感染予防の取組み

トライアングルではコロナウイルス感染予防のため、来所された皆様に手指、靴の消毒・検温・マスクの着用をお願いしております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、静岡大学の香野 毅教授が行います。

現在、8月の面談日程は、ほとんど予約が埋まっております。若干の空きもございますので、面談を希望される方は、トライアングルスタッフまでお声掛けください。

9月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、トライアングルの玄関に掲示いたします。

ご意見・ご感想をお寄せください

第13回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお願いいたします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

夏を 惜しむかのようなヒグラシの鳴き声が悲しげに聞こえてきます。お元気でお過ごしでしょうか？子どもの夏休みもそろそろ終盤。お父さんお母さんが宿題の助っ人に登場しなければならない時期になりましたね。

朝夕はずいぶん涼しくなりました。とはいえ季節の変わり目、体調には十分ご注意ください。ニュースレター第13号をお届けします。育児の参考にいただければ幸いです。

ホームアンドアウェーで仕事する

静岡大学 教育学部 特別支援教育 教授 香野 毅

前世 紀（つい20年ほど前です）、親子の相談方法は選択肢が多くありませんでした。多くの場合、自分たちで相談先を見つけて、電話予約して、親子で出かけ・・・という段階を踏んでいました。結構大変で、予約制の歯医者みたいなものです。しかも喜んで行くわけではないですから、大事（オオゴト）だったと推察します。これをクリニック（診療所）型相談と呼びます。



こちらは、来談を待っていることになります。自分のフィールド（ホーム）に親子が来てくれます。「よく来たね～」と少しばかり上から目線？

それが世紀末ごろから変わってきます。あちらこちらに窓口が設けられ、園や子育て支援センターでも相談ができるようになりました。さらにスクールカウンセラーのように日常のなかに専門家が入ってきました。親子に会う場所は学校や園に移っていきました。ファミレスや公民館、畑や公園、自宅もあります。これらを巡回相談やアウトリーチと呼びます。

こういった変化はいくつかのメリットをもたらしました。ひとつはつながりやすさです。専門家との接点が増え、アクセスが容易になりました。歯医者が学校に来てくれるようになったのです（子どもはイヤか!？）。

私たちは、いろんなことが見えやすくメリットを得ました。理解の仕方が広がりました。クリニックでの子どもはたいがい借りてきた猫ちゃんです。学校や園での様子は、伝え聞いたり、想像した



トライアングル通所、中学1年生制作作品

りするしかありません。しかしこちらが出向けば、そこはリアルでライブな空間です。同時に、そこでは子どもの生活している世界を、具体的に感じ取れます。建物やモノ・周りの人・活動・ルール・雰囲気……。子どもの行動は環境と切り離されて生じるのではなく、環境との関係において生じています。子どもをみながら環境をみます。教室では一緒に授業を受けながら、子どもとその環境を観察します（先生はイヤか!？）。

2月、某こども園。砂場ではダムづくりが着工されています。ひとりが裸足になり、飛び込みます。「意外にあったかいよ。露天風呂だ!」の声に、次々と子どもたちが飛び込みます。「ヒエー、スイマセン、さすがにそれは無理!」と腰を引いたら、子どもたちから泥攻撃に合いました。アウェーは厳しいです。



スタッフ紹介



松井 祥子 先生

生徒指導や雑務に追われて過ごした教員時代。生徒の思いに寄り添った対応ではなく、大人の価値観を押し付けていた気がします。

現在、トライアングルでは、子どもの様子を見ながら、待ちの姿勢で世話を焼きすぎないように心掛けていますが、臨機応変の対応に難しさを感じます。段ボールや空き箱を使っの工作が大好きな子どもたち。ハサミを使う時、思わず手を添えようとする私に、「自分でやるー」と言います。また、カエルの折り方を教えてもらっている時に、「そうやって折るんだね」と話しかけると、「先生、ぼくがしゃべるから、だまって」と言われ、「あら、ごめんなさい」と私。このように、子どもと一緒に過ごす時間は、いろいろな発見があり貴重です。スタッフの一員として反省点が多いものの、多くの出会いに感謝しております。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



テント貼りにキャンプファイヤーの準備。みんなで役割分担をし、協力して作り上げました。



決まった数のボールを手に持ち一列に。自分の順番までしっかりと待つことができました。



ゆらゆらと揺れる縄に向かって思いっきりジャンプ！次はもっと早い波に挑戦するぞ！



お願い事は何にしようかな？しっかりと願いを込めて、短冊を書き上げました。

家庭で使ってほしい子育てのヒント

『うるさい』『むかつく』このような『ちくちく言葉』を子どもたちから聞くことがあります。こんな時、大人はどうしたらよいのでしょうか。今の子どもたちは、人を傷つける言葉は知っていても、人を元気づける言葉の引き出しは極端に少ないと言われます。それは、大人たちからそのような言葉を学ぶことができなかったということ。大人こそが反省しなければなりません。あなたは、こんな『ちくちく言葉』を使っていますか？「いいかげんにしなさい」「また失敗した」「いつもあなたはこうなんだから」「言う通りにしないからこうなるんだよ」「まだできないの」。大人がすべきは子どもにたくさん『ふわふわ言葉』をかけてあげること。以下を参考に実践してみてください。1. 何気ない『ふわふわ言葉』。「ありがとう」「いいね」「そうなんだ」「おはよう」「気を付けてね」「おかえり」2. 認める『ふわふわ言葉』。「上手だね～」「良かったよ」「すごい」「いつも助かってるよ」「やったね」3. 励ます『ふわふわ言葉』。「大丈夫？どうしたの？」「心配ないよ」「やってみよう」「待っているよ」「また次もがんばろうね」

スタッフのオススメ～グッズ編『バランス忍者』～

全国の遊びのスペシャリストが選ぶ『グッド・トイ』受賞作（2004年）、『忍者』のリニューアル版『バランス忍者』。アイデア次第で、さまざまな遊び方ができる人気の知育玩具です。人の形をした『忍者』と呼ばれるピースと、シーソーのピースを使って、平面パズル・立体バランスゲーム・ドミノなどなど、さまざまな遊び方ができ、そのバリエーションは無量大。小さなお子さんから親御さんまで一緒になって楽しめます。

例えば、積み上げ遊び。手先の器用さや集中力・忍耐力が養われます。不規則に積み上げることで創造性を養うことも。小さなお子さんでしたら、親子で一緒にドミノを作ったり、どちらが高く積みあげられるかを競争したり、お子さんの手のひらサイズで軽いので、ごっこ遊びのお人形として使ったりもできます。『ならべる』『つむ・のせる』『くみだてる』の3つの章で構成されたあそびかたブックが附属していますので、初めての方でも安心です。



編集後記 面倒をみていた知人の闘鶏4羽を家族に迎えることにした。小さい時からかわいがっていた親のいない子たちだ。タイに来る前は全く興味なかったが、接してみると中々かわいい。お腹がすくと突いて催促、寝る時には高いところに上げてくれと要求してくる。とぼけていると感情をむき出しにして怒る。チビが最近、私に対して変な動きをするようになった。知人曰く求愛ダンスだという。そんな風に想ってくれているのか……。Googleで調べたら、威嚇する時もこのダンスをするらしい。??? (M)

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL : 054-273-1177 FAX : 054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ : <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス : triangle@shizuoka-fukushi.or.jp